

第7回腫瘍病理セミナー

北陸がんプロFD講演会

上皮細胞の細胞膜構造形成における 脂質の役割および 癌化に伴う脂質の変化について

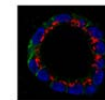
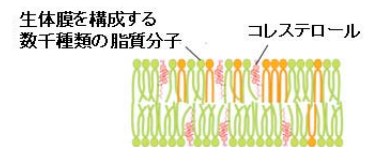
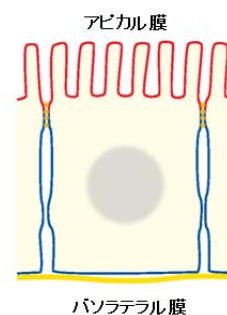
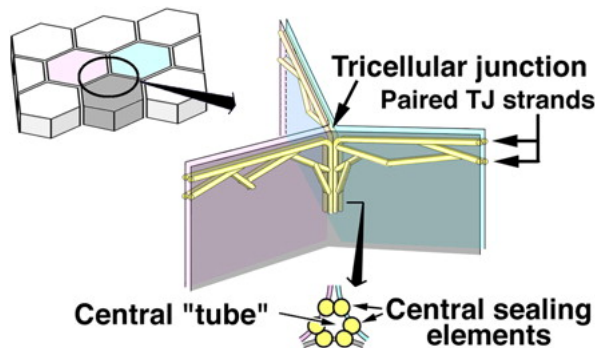
京都大学 工学研究科 合成生物化学専攻
生体認識化学分野 准教授

池ノ内順一

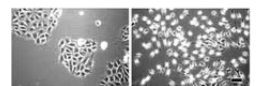
池ノ内先生は、京都大学医学部を2003年に卒業、同大学院博士課程に進学、日本学術振興会特別研究員、JST さきがけ研究員などを経て、2008年から現職につかれています。

医学部生時代から、塩田浩平先生・月田承一郎先生のもとで研究を始め、主に上皮細胞の形態・細胞間接着を蛋白質を同定するなどして明らかにし、現在では脂質を中心にオリジナリティの高い研究を行われています。本セミナーでは、これらの最新の研究成果と共に、癌における脂質の役割についてもご紹介頂きます。たくさんのご来聴をお待ちしています。

上皮細胞の極性形成や機能の発揮に重要な細胞膜脂質を探索する



上皮管腔形成
(囊腫腎などの病態解明)



上皮間葉転換
(浸潤癌や肺線維症などの病態解明)

Lipid polarity is maintained in absence of tight junctions. JBC 2012
Tricellulin constitutes a novel barrier at tricellular contacts of epithelial cells. JCB 2005

日時：2月18日(月) 17時から

金沢医科大学病院

本館4階 C41 講議室

主催：病理学I清川 内線 3611